

アルジェリア国における地震災害に対する 国際緊急援助隊医療チーム活動報告書

平成15年8月

JICA LIBRARY



1173138[7]

国際協力事業団
国際緊急援助隊事務局

緊災

IR

03-08

**アルジェリア国における地震災害に対する
国際緊急援助隊医療チーム活動報告書**

平成15年8月

国際協力事業団
国際緊急援助隊事務局



1173138(7)

序文

平成15年5月21日に発生したアルジェリア大地震は、死傷者が1万人を超える大災害となり、20万もの人々が家屋を失うなどの甚大な被害を及ぼしました。日本国政府はアルジェリア国政府の要請に基づき、国際緊急援助隊救助チームに続いて医療チームを派遣しました。医療チームは主として震災により機能が低下した現地の医療機関を支援して被災地の人々に医療サービスを提供し、人的被害の軽減に貢献しました。

医療チームは最も被害を受けた地域のひとつであるゼンムリ地区の被災民キャンプ内に医療テントを設置し、実質8日間の活動期間中に約1600名を診療しました。さらに診療活動に並行して日常的な公衆衛生の啓蒙や衛生環境の改善にも尽力しました。これらの医療チームによる救援活動はアルジェリア国、日本国内、そして国際的にも認知され、内外のマスコミを通じてその貢献が賞賛されています。

本報告書はこのような医療チームの救援活動をまとめ、関係者の方々に報告するとともに、得られた知見を今後の国際緊急援助事業の改善に向けて役立てるものです。関係者の方々からの忌憚のないご意見をいただければ幸甚です。

この度の地震で犠牲となった方々のご冥福と今後の一日も早いアルジェリアの復興をお祈りいたします。

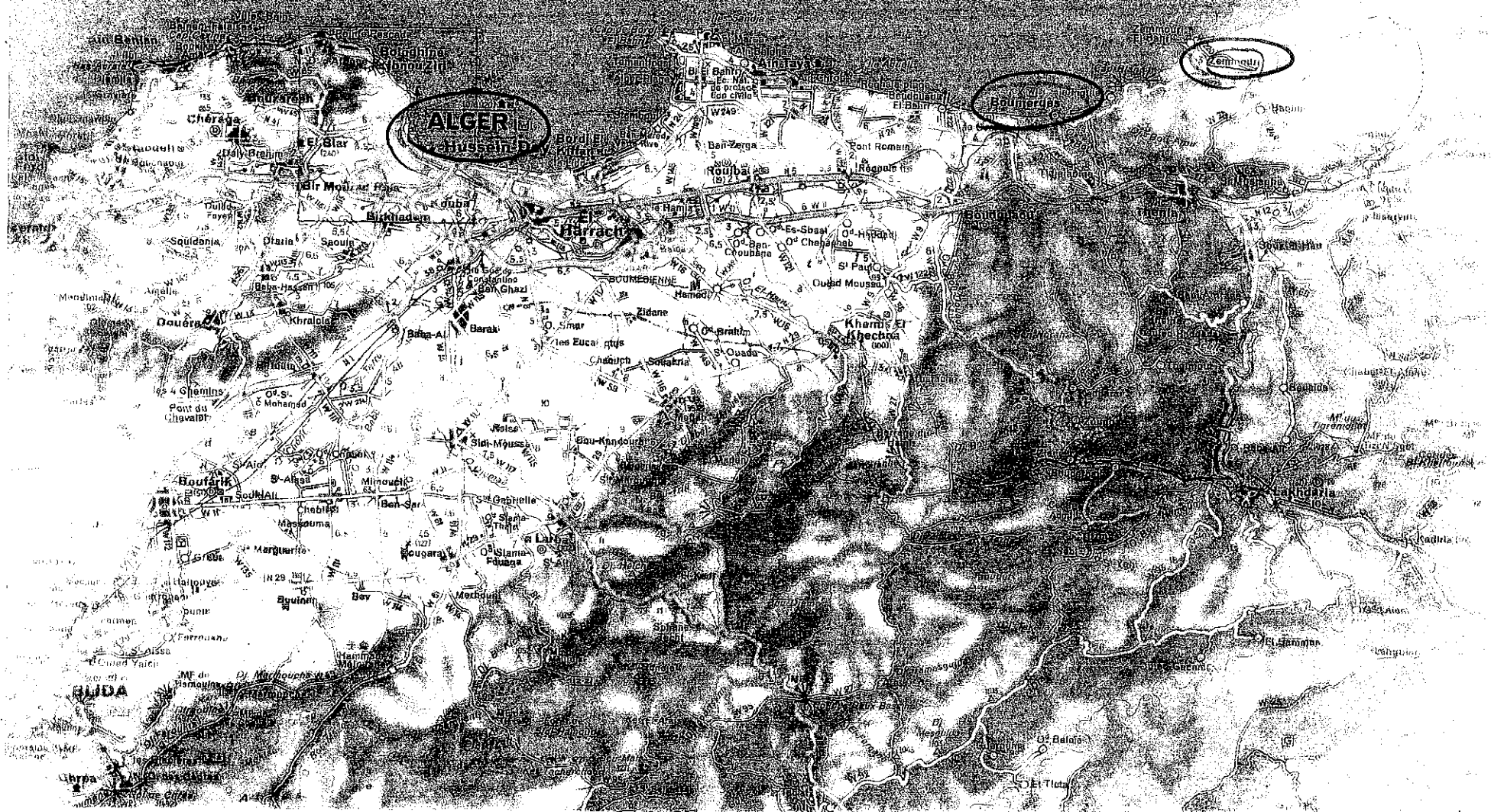
平成15年8月

国際協力事業団
理事 松岡和久

EL KABYLIE

1:500,000

M E D I T E R R A N E E N



医療チーム活動サイト・ズムリ市の被災家屋

(1階部分が完全に崩落)



被災民キャンプ



(中央オレンジ色テント周辺が医療チームテント)



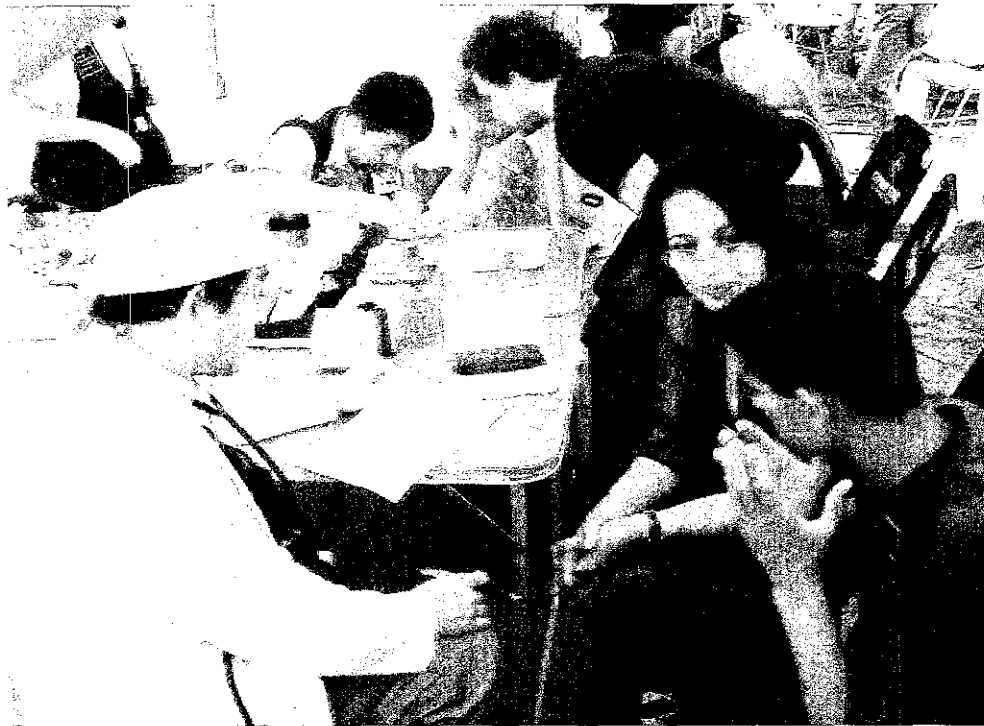
診療を待つ被災者



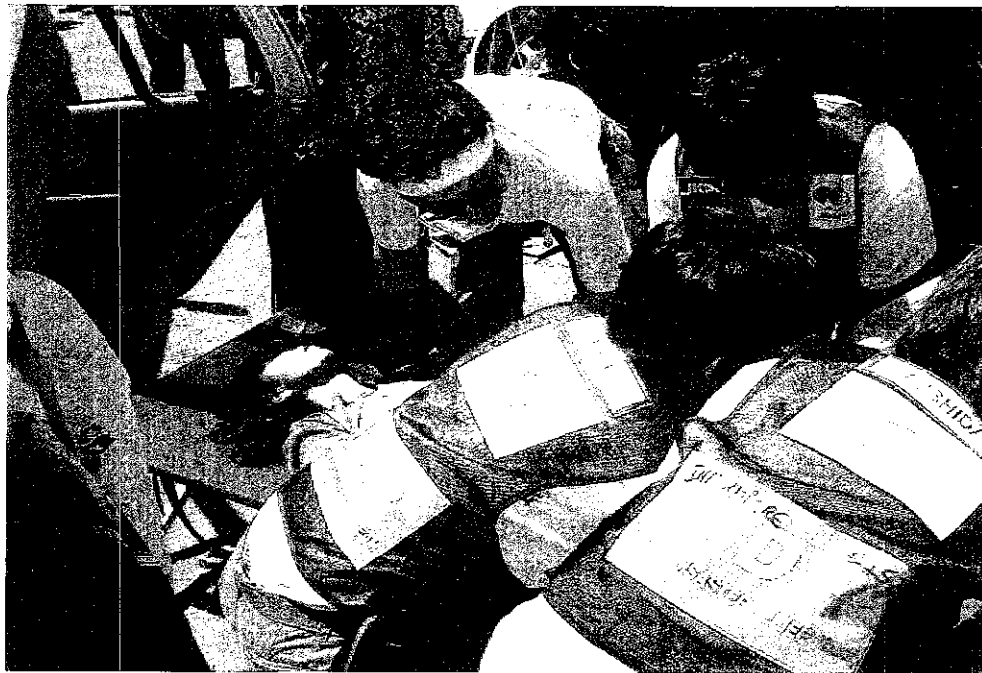
受付、バイタル（血圧、体温等）チェック



診療活動



救急患者の搬送



乳児の洗浄



しらみ除去のための洗髪



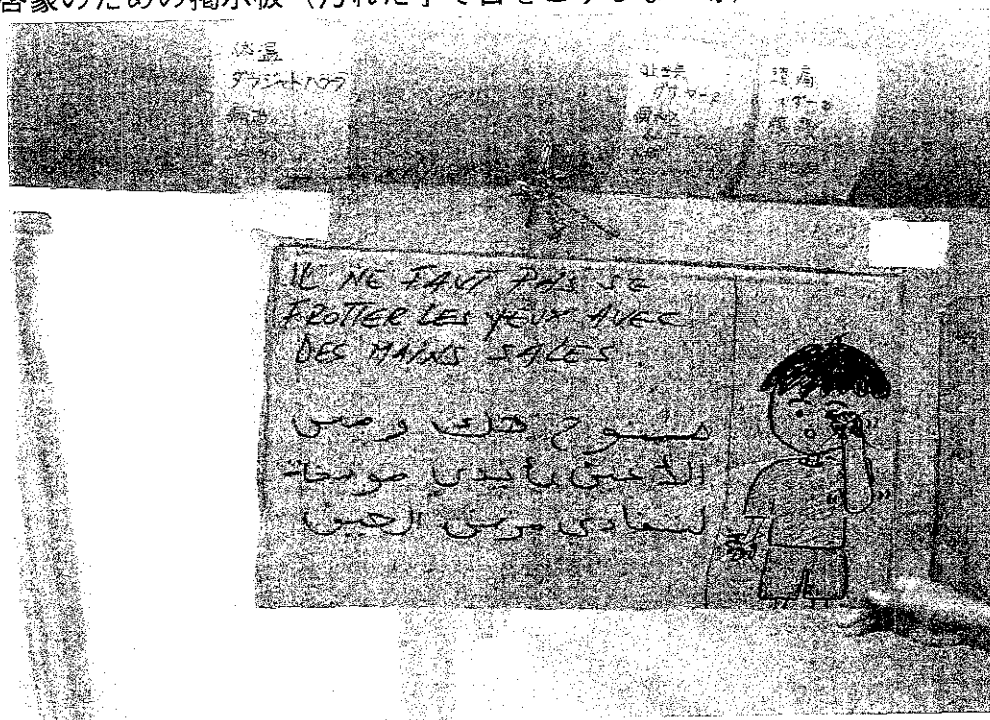
薬局



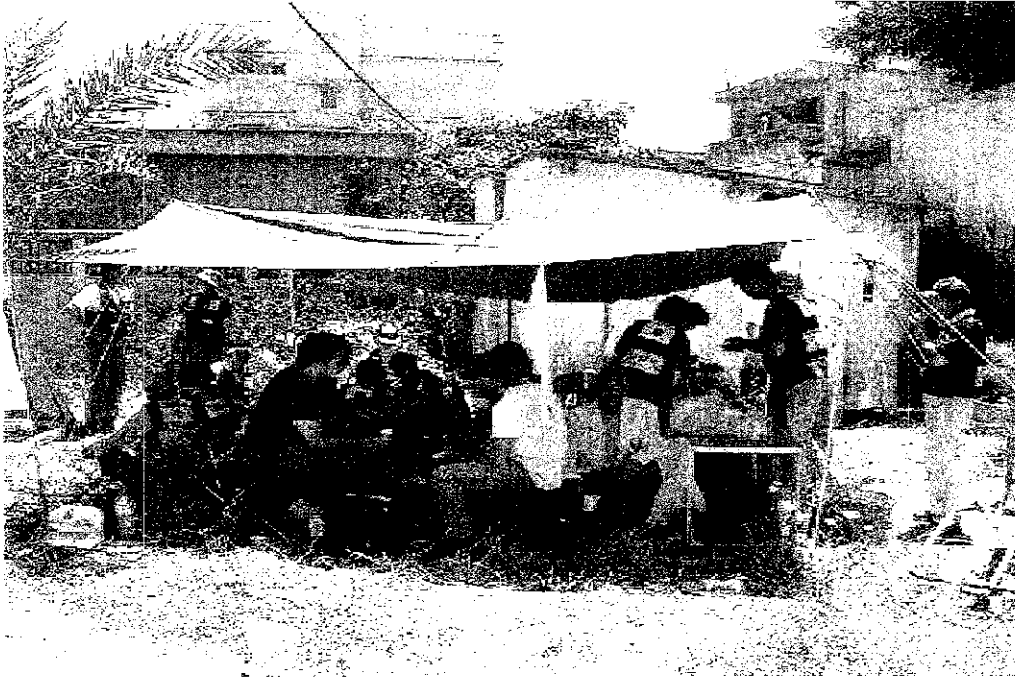
インフォメーション（診療時間等）や公衆衛生啓蒙のための掲示板



衛生啓蒙のための掲示板（汚れた手で目をこすらない等）



隊員用休憩テント（後方右手青いボックスは簡易トイレ）



活動報告及び感謝状の贈呈

